

社会資本総合整備計画 事後評価書

計画の名称	連続立体交差事業による踏切事故・渋滞及び地域分断の解消（交通拠点連携集中支援）												
計画の期間	平成30年度～平成31年度（2年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	福井県												
計画の目標	福井駅付近の鉄道を高架化することにより、踏切を除却し踏切事故の減少や交通の円滑化を図るとともに、線路により分断された市街地を一体化させ、安全で快適な都市づくりを推進する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,500	A	1,500	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	鉄道の高架化により踏切を除却し、福井駅付近の踏切遮断時間を短縮する。 整備区間における踏切遮断時間を、整備前と整備後で比較する。 （踏切遮断時間の短縮）＝（整備前の踏切遮断時間－整備後の踏切遮断時間）	H30当初		H31末
		162分	分	0分

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	街路	一般	福井県	直接	福井県	S街路	改築	JR北陸本線等連続立体交差事業(福井駅付近)	連続立体 L=6.30km	福井市						1,500	1.02	-
											小計						1,500		
											合計						1,500		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 福井県において評価を実施	事後評価の実施時期 事業完了後
	公表の方法 福井県ホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	踏切を除却し、踏切遮断時間を解消した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	踏切を除却し、踏切事故を解消した。
特記事項（今後の方針等）	
鉄道を高架化することで、分断された市街地を一体化でき、駅周辺の都市づくりを推進する。	

